

# 静岡大学

## 未来創成ビジョン

共創による未来社会の実現



# 静岡大学未来創成ビジョンの

# 目的と9つの目標 — Purpose & 9 Goals

G1

## ソーシャルウェルネスの実現

個々の身体的、精神的、そして社会的に健康・健全で安心な社会の創生

G2

## レジリエント社会の構築

自然的・社会的リスクに対してしなやかな社会の創造

G3

## イノベーションの創出

独創性に富んだ科学技術の創出による、世界を先導する地域社会の創生

G4

## スマートコミュニティの実現

AI・IoTの活用や人材育成により、地域課題を解決するスマートコミュニティを実現

G5

## グリーン社会の構築

グリーン産業を強化し、持続的な経済成長と社会発展を可能にするグリーン社会の構築

G6

## 海洋研究の推進

海洋環境を最大限に活用し、バイオ分野の先端技術と海洋研究の融合により海洋における課題を解決するとともに地域産業の成長・発展を先導

県全域との 共創により  
「オール 静大」で  
ポストSDGs を見据えた  
地域課題解決 取り組み  
世界に 展開

G7

## 高等教育機関等との 一体的連携

高等教育・研究機関及び地域コミュニティとの連携による国際性豊かで多角的視点を持つ人材の育成

G8

## 生きる力を支える 教養教育改革

生きる力を支え、総合知を体現できる教養教育改革を推進し、高度専門人材を輩出

G9

## 県全域への 教育研究拠点の展開

共創により生み出される成果を基に、東部地区に新たな拠点を置き、教育研究を県全域に展開

# G1 ソーシャルウェルネスの実現

個々の身体的、精神的、そして社会的に健康・健全で安心な社会の創生

## ウェルビーイングに関する分野横断型教育研究

- 教育・医療・福祉に関する社会制度
- スポーツ
- 幸福度



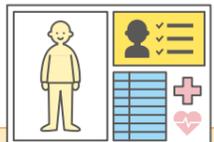
↳ 個々の健康を支える社会の仕組みづくり

## 特別教育プログラム

## 社会共創

## 医工情連携による健康分野の教育研究

- ウェルネスデータの収集・解析・処理技術
- 生体情報センシング技術
- 医療用メカトロニクス技術



↳ 個々の健康への貢献

## 「総合知」の応用によるソーシャルウェルネスの実現



- ソーシャルウェルネス像と課題の明確化
- ステークホルダーとの協働による「総合知」の社会実装

## 主な取り組み

ウェルビーイングの理解を支える  
全学教育科目及び  
特別教育プログラムの創設

医工情連携による健康分野の  
研究推進と実用化加速

ウェルビーイングに関する  
多様な分野横断型研究の育成支援

地域課題の解決に向けた  
多様なステークホルダーとの協働

# G2 レジリエント社会の構築

自然的・社会的リスクに対してしなやかな社会の創造

## しなやかな社会に向けた地域的課題

- 様々な災害リスク(地震、津波、土砂災害、洪水、火山)を理解し、豊かな自然環境・自然資源を保全・利用
- 産業活動の持続的発展に向けた、県全域に広がる多様な産業間の関係性の構築

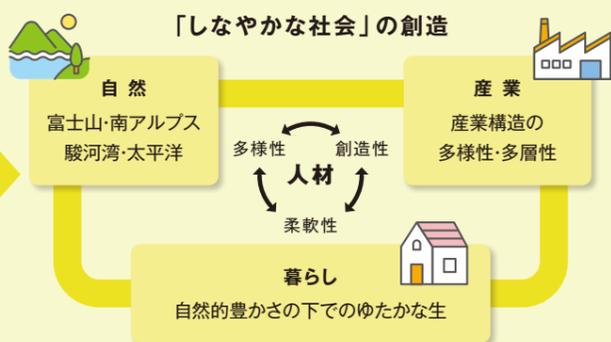
## 大学の強み・取組

### 研究

総合的な災害・防災研究/自然環境の  
多様性・連続性/木質資源の産業利用

### 教育・人材育成

分野横断型の教育課程/コーディネート  
人材の育成/防災マイスター・防災  
フェロー/地域住民への環境教育



## 主な取り組み

災害メカニズムの解明と  
有効な防災手法の構築

自然資源の流域的産業利用による  
循環型経済の構築

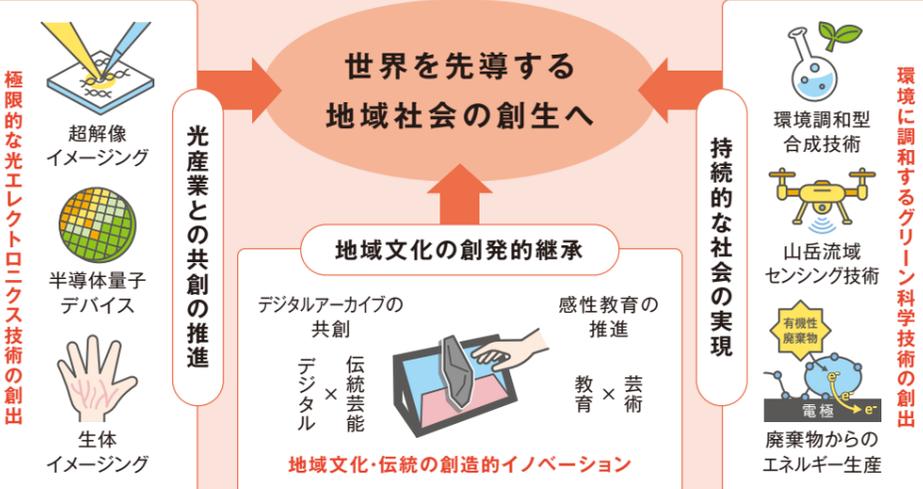
啓発活動により地域市民が  
主体的に学び実践する社会を構築

豊かな自然環境を活かした  
ウェルビーイングの実現

産業間、地域間連携をコーディネート  
できる高度専門人材の育成

# G3 イノベーションの創出

独創性に富んだ科学技術の創出による、世界を先導する地域社会の創生



## 主な取り組み

世界を先導する研究拠点の構築

次世代の芽を育む基盤研究の推進

異分野融合の促進による  
研究力の向上

次世代半導体人材育成

国内外の多様な人材の流動活性化

大学発ベンチャー・スタートアップ創出の  
加速と支援

# G4 スマートコミュニティの実現

AI・IoTの活用や人材育成により、地域課題を解決するスマートコミュニティを実現



AIやIoTを活用した  
スマートシステムの研究開発



スマート社会を担う人材育成

## 地域課題を解決するスマートコミュニティの実現



- スマートコミュニティ実践の場
- 地域産業や社会のスマート化
- 災害対応技術やインフラ維持管理
- スマート社会を牽引する人材の持続的な育成体制構築

## 主な取り組み

スマート社会を牽引する  
人材育成

スマートシステム関連研究の  
推進と社会実装

スマートキャンパスを基盤とした  
実践の場

地域産業や社会の  
スマート化を推進

災害対応技術や  
インフラ維持管理支援

# G5 グリーン社会の構築

グリーン産業を強化し、持続的な経済成長と社会発展を可能にするグリーン社会の構築



## 主な取り組み

グリーンリテラシーを備えた  
人材育成の全学的展開

グリーン科学研究の推進と  
画期的なイノベーションの創出

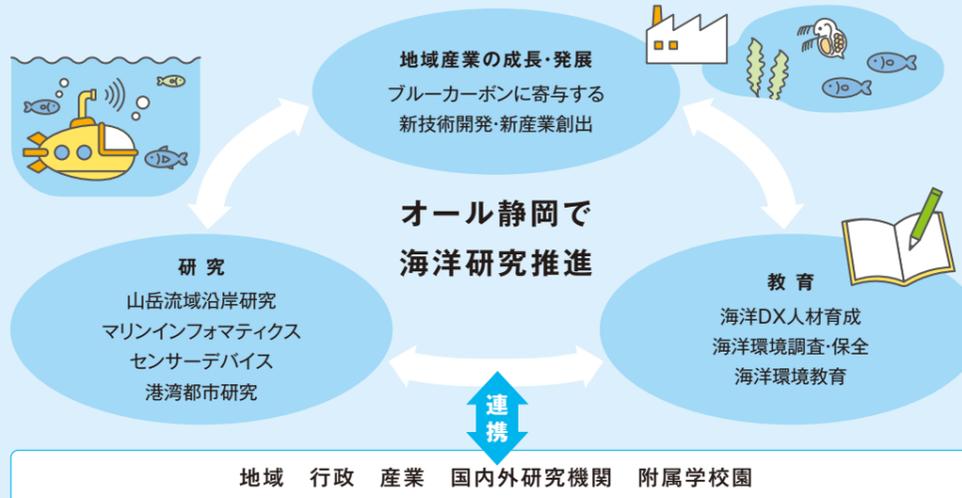
持続的な社会発展を目指す  
共創型研究の推進

地域とのつながりを深めた  
グリーン社会の協働創成

環境教育・実証研究の場としての  
キャンパスの活用

# G6 海洋研究の推進

海洋環境を最大限に活用し、バイオ分野の先端技術と海洋研究の融合により海洋における課題を解決するとともに地域産業の成長・発展を先導



## 主な取り組み

次世代海洋研究者の育成

海洋環境の最大限活用化

自治体・企業との連携による  
地域活性化

海洋研究体制の強化

海洋研究拠点の構築

## G7 高等教育機関等との一体的連携

高等教育・研究機関及び地域コミュニティとの連携による国際性豊かで多角的視点を持つ人材の育成

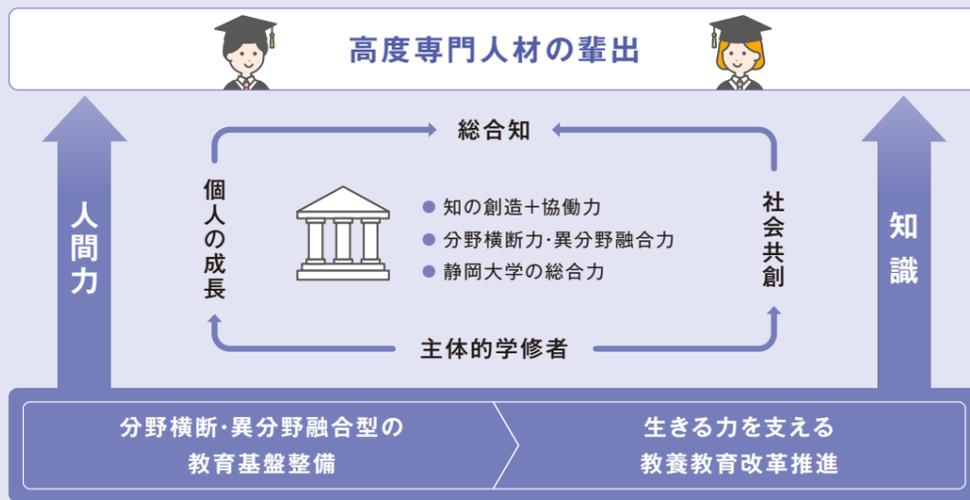


### 主な取り組み

- 国際性豊かで多角的視点を持つ人材の育成
- 高等教育機関との連携強化
- 社会連携・地域貢献型研究の推進
- 産学官地域連携プラットフォームの構築
- 大学の知による経営基盤の強化

## G8 生きる力を支える教養教育改革

生きる力を支え、総合知を体現できる教養教育改革を推進し、高度専門人材を輩出

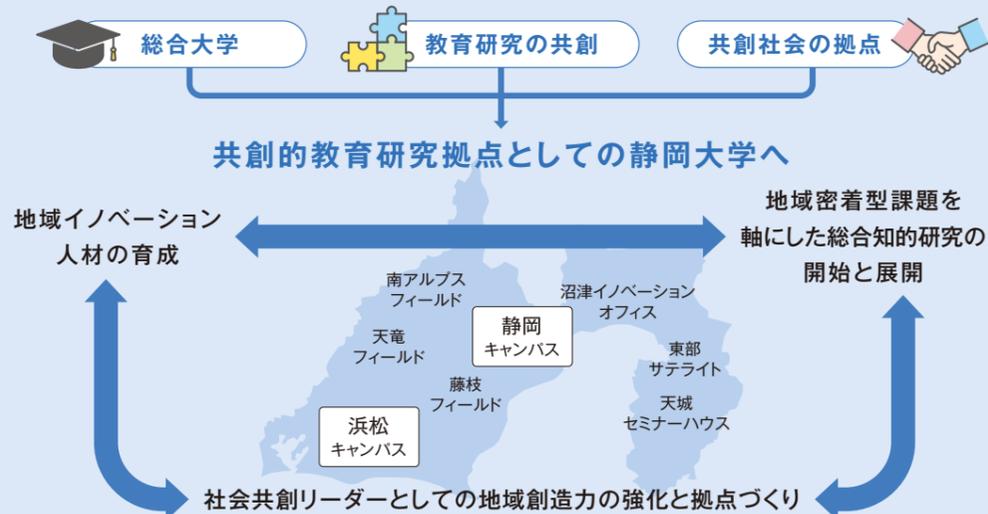


### 主な取り組み

- 個と社会をつなぐ主体的に学ぶ力の育成
- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(DE&I)教育の推進
- ICTリテラシーの深化
- 基礎研究と応用研究の往還を可能にする研究環境の構築
- 教育・研究機関の協働に基づく社会共創基盤の強化
- 異文化理解を深める課題解決型国際共創教育の推進

## G9 県全域への教育研究拠点の展開

共創により生み出される成果を基に、東部地区に新たな拠点を置き、教育研究を県全域に展開



### 主な取り組み

- 共創的教育研究拠点の形成と推進
- 東部地区における教育研究の充実化
- 地域イノベーション人材の育成
- 社会共創リーダーとしての地域創造力の強化
- 地域密着型課題を軸にした総合知的研究の開始と展開

## 9つの目標の実現に向けた大学の役割に基づく重点構想・重点戦略



### 学長メッセージ

本学は、1949年に新制国立大学として発足して以来、「自由啓発・未来創成」という理念の下、文系・理系学部を有する総合大学として静岡県はもとより、日本においても確固とした地歩を築いてきました。

少子高齢化や人口減少、環境問題など様々な社会課題が複雑多様化し、先行きを見通すことが難しい時代である今、本学には、物事の本質を読み解き、さらに科学技術の進歩と発展に一層の貢献をする「知と人材の集積拠点」として、地域社会から更なる期待が寄せられています。

このような期待に応えるため、「静岡大学未来創成ビジョン」に掲げる9つの目標を達成するとともに、県全域との共創により「オール静大」でポストSDGsを見据えた地域課題解決に取り組み、世界に展開していきます。また、教職員が一丸となって力を合わせ、これまで総合大学として培ってきた教育研究成果を一層充実・発展させ、現状を変革して強い大学を築き上げることで、世界水準の大学を目指します。

これらの実現に向けて、各目標のイメージ図及び具体的な取り



組み、並びに今後取り組むべき活動を、「教育」「研究」「社会共創」「国際連携」「経営基盤」という大学の役割に基づいてまとめた重点構想・重点戦略を策定しました。

これからは地域の皆様との多様な連携の下、未来を紡ぎ出す人を育て、さらに未来を切り拓く研究を進めるため、力強く前進していきたいと考えていますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

静岡大学長 日詰 一幸